



決算説明資料

2024年度第1四半期

日本電解株式会社 2024年8月9日

1. 2024年度第1四半期累計 決算ハイライト
2. 2024年度第1四半期累計 業績
3. 2024年度通期 連結業績見通しの修正
4. 参考資料

1. 2024年度第1四半期累計 決算ハイライト
2. 2024年度第1四半期累計 業績
3. 2024年度通期 連結業績見通しの修正
4. 参考資料

2024年度第1四半期 決算ハイライト

連結業績

売上高
4,343百万円
前年
同期比 **-8.7%**

営業利益
-492百万円
前年
同期比 **-250百万円**

親会社株主帰属
四半期純利益
-468百万円
前年
同期比 **-445百万円**

業績概況

車載電池用銅箔	<ul style="list-style-type: none">・米国インフレ抑制法（IRA法）の影響による輸出セル用銅箔の需要減少があるも、高容量LIB用銅箔が牽引し、日本国内は販売増・米国向け輸出は需要減少
回路基板用銅箔	<ul style="list-style-type: none">・2023年度に発生したDenkai America整流器故障に伴う失注分が戻りきれず販売減

トピックス

米国オーガスタ 新工場	<ul style="list-style-type: none">・Augusta Economic Development Authorityへ、着工を延期している米国新工場建設予定地の返還を決議・土地返還に伴う減損損失（特別損失）133百万円発生
----------------	---

1. 2024年度第1四半期累計 決算ハイライト
2. 2024年度第1四半期累計 業績
3. 2024年度通期 連結業績見通しの修正
4. 参考資料

2024年度第1四半期 業績

- 売上高は、車載電池用銅箔において、日本国内での需要は増えるも、北米で需要減となり全体では減少、回路基板用銅箔において、2023年度に発生した米国子会社整流器故障に伴う失注分が戻りきれず減少
- 営業利益は、販売減に加え、急激な銅価格高騰の影響を受け悪化

(単位：百万円)

	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	増減額	前年同期比
売上高	4,759	4,343	▲ 415	▲8.7%
車載電池用銅箔	3,438	3,126	▲ 311	▲9.1%
回路基板用銅箔	1,321	1,217	▲ 103	▲7.8%
営業利益	▲ 241	▲ 492	▲ 250	-
経常利益	44	▲ 331	▲ 376	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲ 22	▲ 468	▲ 445	-
生産数量 (ト)数)	2,478	2,066	▲ 412	▲16.6%

上記の表は、端数切捨てで統一しております。尚、比率の数値は1円単位で計算しているため、端数処理後の数値とは結果が一致しない場合がございます。また、赤字との比較は増減率(%)の記載を-としております。

2024年度第1四半期 損益計算書

■ 売上総利益、営業利益及びEBITDAは、販売減に加え、急激な銅価格高騰の影響を受け悪化

(単位：百万円)

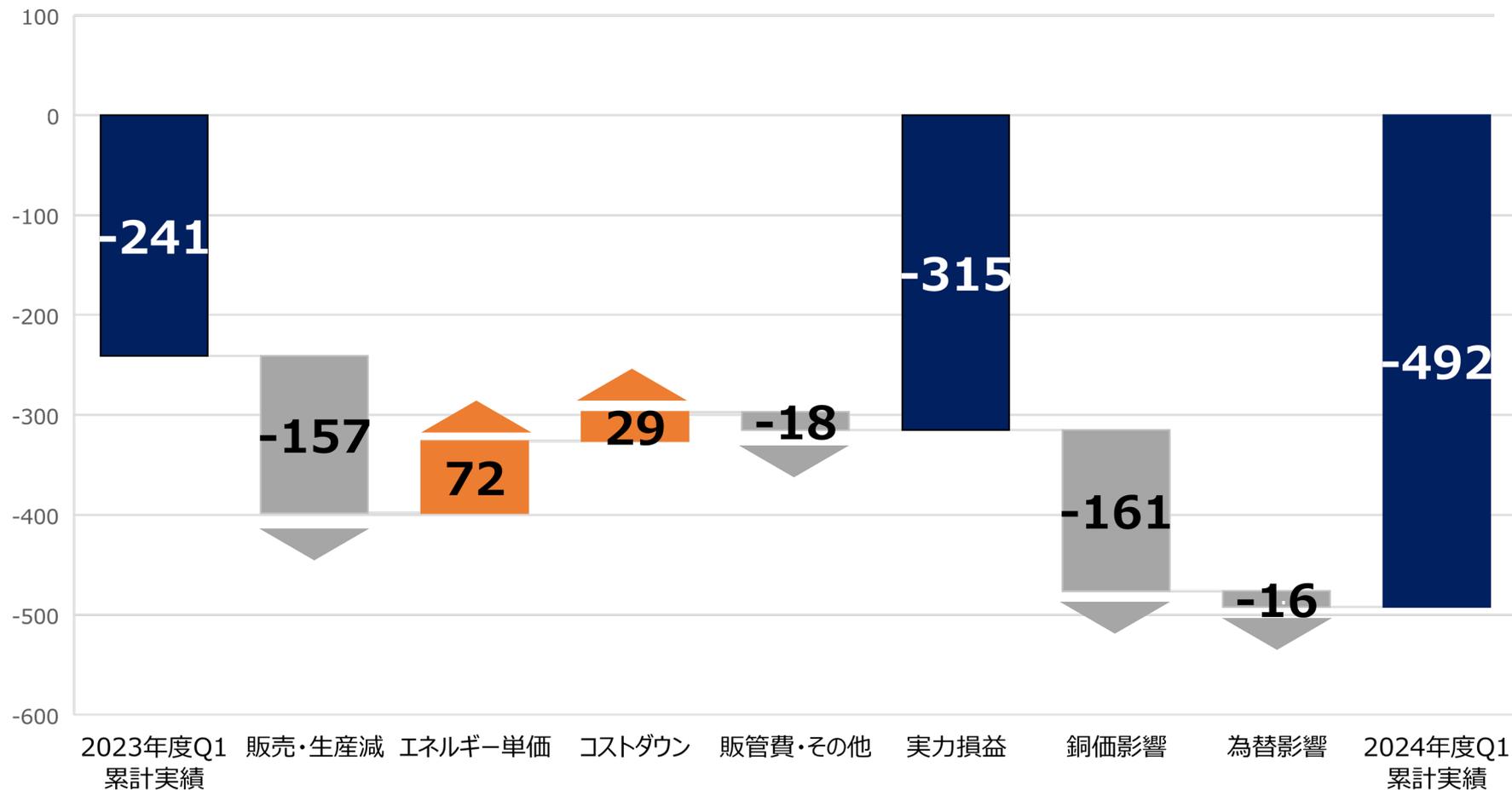
	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	増減額	前年同期比
売上高	4,759	4,343	▲ 415	▲8.7%
売上原価	4,678	4,483	▲ 195	▲4.2%
売上総利益	81	▲ 139	▲ 220	-
売上総利益率 (%)	1.7%	▲3.2%	▲4.9%	-
販売費及び一般管理費	322	352	30	9.4%
販管費比率 (%)	6.8%	8.1%	1.3%	-
営業利益	▲ 241	▲ 492	▲ 250	-
営業利益率 (%)	▲5.1%	▲11.3%	▲6.2%	-
減価償却費	307	294	▲ 13	▲4.4%
EBITDA	66	▲ 198	▲ 264	-
EBITDAマージン (%)	1.4%	▲4.6%	▲6.0%	-

上記の表は、端数切捨てで統一しております。尚、比率の数値は1円単位で計算しているため、端数処理後の数値とは結果が一致しない場合がございます。また、赤字との比較は増減率(%)の記載を-としております。

営業利益増減分析（前年同期比）

- 販売・生産は、車載電池用銅箔において、日本国内での需要は増えるも、北米で需要減となり全体では悪化、回路基板用銅箔において、2023年度に発生した米国子会社整流器故障に伴う失注分が戻りきれず悪化
- 銅価影響は、急激な銅価格高騰により短期的に損益へ影響

（単位：百万円）



1. 2024年度第1四半期累計 決算ハイライト
2. 2024年度第1四半期累計 業績
3. 2024年度通期 連結業績見通しの修正
4. 参考資料

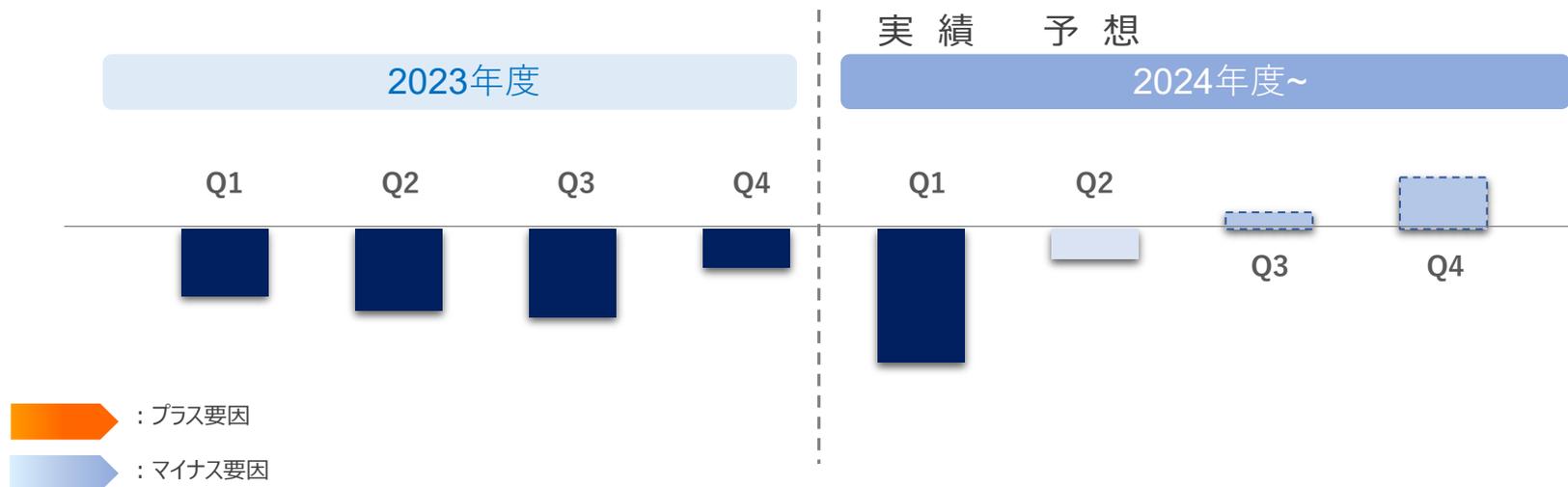
2024年度 販売計画進捗

■ 拡販活動により、Q3以降販売拡大見込み

生産拠点	用途		納入先 販売市場	Q1	Q2	Q3	Q4
日本電解	車載電池	LIB	電池メーカー (日本及び米国)	供給中		●新規顧客 製品供給開始	
		高容量LIB	電池メーカー (日本)	供給中		●新規顧客 製品供給開始	
	回路基板 (ハイエンド製品)	PCB	基板・CCLメーカー (日本)	●新規顧客 新製品(ウェアラブル端末)搭載向け銅箔の供給開始			
		PCB	基板メーカー (米国)	供給中			
Denkai America	車載電池 (蓄電池)	LIB	電池メーカー (米国)				●サンプル供試
	回路基板 (ミドルレンジ製品)	PCB	既存顧客	供給中			

今後の成長に向けて

■ 2024年度下期 連結黒字化を目指す



日本電解	高容量LIB用素材量産 : 適用ライン増加	▶
日本電解	LIB新規顧客供給開始	▶
日本電解	回路基板用銅箔 : 新規製品供給開始	▶
日本電解	生産現場におけるDX・IoT化などの製造コスト低減	▶
電解グループ	業務提携によるシナジー効果	▶
Denkai America	車載電池(蓄電池)用銅箔のサンプル出荷	▶
Denkai America	整流器故障による顧客減の影響が長引く	▶
日本電解	国内製造電池向け銅箔の販売減	▶
日本電解	電力単価アップに伴うコスト増	▶

2024年度通期 業績見直し修正（連結ベース）

- 銅相場価格急騰により営業利益は、当初予想より約3億円程度悪化見込み
- 当期純利益は、上記に加え第1四半期減損損失と合わせて約4億円程度悪化見込み

(単位：百万円)

	2024年5月15日 公表見直し (A)	2024年8月9日 公表修正見直し (B)	修正後差額 (B - A)
売上高	19,700	21,300	1,600
うち 車載電池用銅箔	14,800	16,000	1,200
うち 回路基板用銅箔	4,900	5,300	400
営業利益	0	▲300	▲300
経常利益	▲800	▲1,100	▲300
親会社株主に帰属する当期純利益	▲800	▲1,200	▲400
EBITDA	1,200	900	▲300

<参考> 2024年度 業績見通しの前提

	5/15発表	8/9発表 修正見直し
生産数量：	9,500トン	→ 9,500トン
為替：	148円/ドル	→ 148円/ドル
銅相場価格*：	1,350円/Kg	→ 1,520円/Kg

2024年度 第2四半期 決算発表予定

決算発表予定

2024年11月8日（金曜日）

1. 2024年度第1四半期累計 決算ハイライト
2. 2024年度第1四半期累計 業績
3. 2024年度通期 連結業績見通しの修正
4. 参考資料

2023年度 製品別売上構成

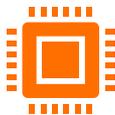
回路基板用銅箔

当社製品



用途

フレキシブルプリント配線板
半導体パッケージ基板



主要最終製品

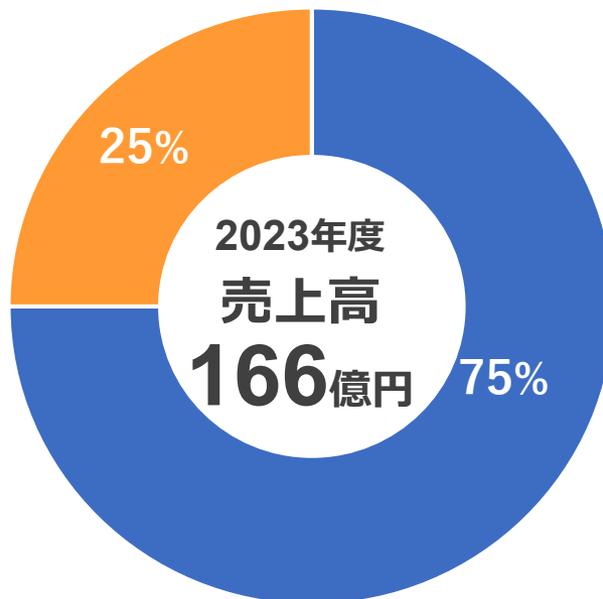


5Gスマートフォン



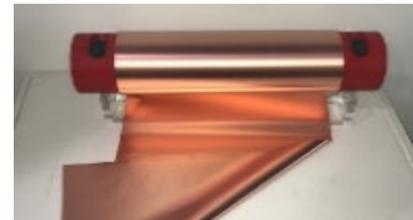
5G通信
基地局 等

2023年度 販売構成比



車載電池用銅箔

当社製品



用途

リチウムイオン二次電池 (LIB)



主要最終製品



EV



HV

連結業績推移

(単位：百万円)

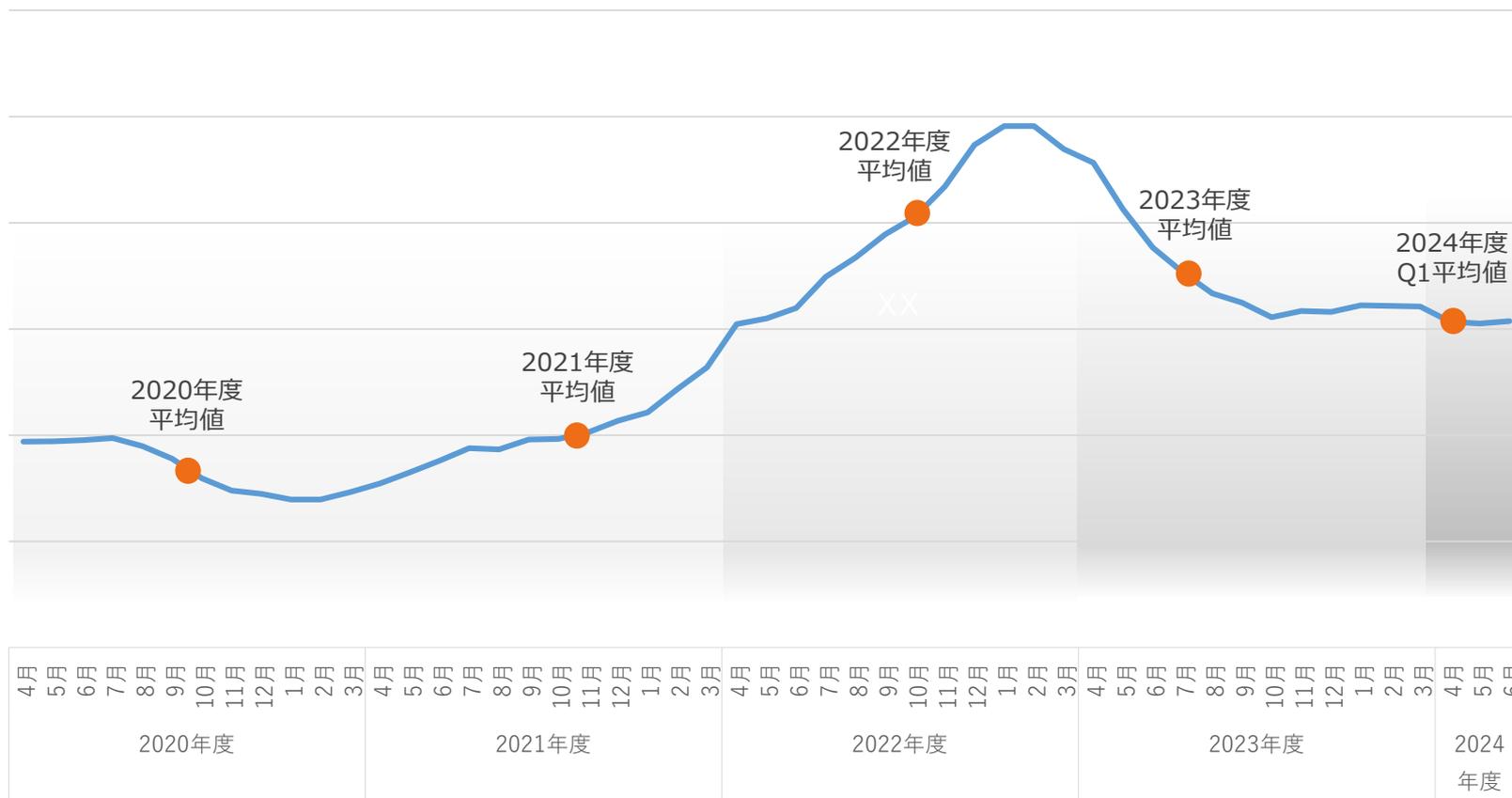
	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023				通期	FY2024	QoQ (c)-(b)	YoY (c)-(a)
	通期	通期	通期	Q1 (a)	Q2	Q3	Q4 (b)		Q1 (c)		
売上高	14,584	20,558	17,047	4,759	3,818	3,769	4,302	16,650	4,343	41	▲ 415
車載電池用銅箔	9,272	13,589	11,316	3,438	3,040	3,027	3,036	12,542	3,126	89	▲ 311
回路基板用銅箔	5,312	6,969	5,730	1,321	778	742	1,265	4,108	1,217	▲ 48	▲ 103
売上原価	12,863	18,527	16,943	4,678	3,826	3,808	4,146	16,460	4,483	336	▲ 195
売上総利益	1,721	2,030	104	81	▲ 7	▲ 38	155	190	▲ 139	▲ 294	▲ 220
売上総利益率(%)	11.8%	9.9%	0.6%	1.7%	▲0.2%	▲1.0%	3.6%	1.1%	▲3.2%	-	-
販売費及び一般管理費	1,194	1,025	1,715	322	296	304	301	1,224	352	51	30
販管費比率(%)	8.2%	5.0%	10.1%	6.8%	7.8%	8.1%	7.0%	7.4%	8.1%	-	-
営業利益	527	1,004	▲ 1,611	▲ 241	▲ 303	▲ 343	▲ 145	▲ 1,034	▲ 492	▲ 346	▲ 250
営業利益率(%)	3.6%	4.9%	▲9.5%	▲5.1%	▲8.0%	▲9.1%	▲3.4%	▲6.2%	▲11.3%	-	-
経常利益	440	976	▲ 1,840	44	▲ 192	▲ 610	▲ 530	▲ 1,288	▲ 331	198	▲ 376
当期純利益	193	848	▲ 1,933	▲ 22	▲ 380	▲ 670	198	▲ 874	▲ 468	▲ 667	▲ 445
減価償却費	1,316	1,274	1,240	307	273	284	304	1,169	294	▲ 9	▲ 13
EBITDA	1,843	2,278	▲ 371	66	▲ 30	▲ 58	158	134	▲ 198	▲ 356	▲ 264
EBITDAマージン(%)	12.6%	11.1%	▲2.2%	1.4%	▲0.8%	▲1.6%	3.7%	0.8%	▲4.6%	-	-
生産数量 (ト)数)	10,058	11,936	8,520	2,478	1,904	1,970	1,956	8,308	2,066	110	▲ 412

上記の表は、端数切捨てで統一しております。尚、比率の数値は1円単位で計算しているため、端数処理後の数値とは結果が一致しない場合がございます。また、赤字との比較は増減率(%)の記載をとしております。

変動要因の推移

電力価格推移

- 当社購入電力価格は、落ち着いてはいるものの過去の水準に比べ依然高価格で推移



変動要因の推移

銅材料価格推移

- 銅材料価格は、為替が円安方向に進み2024年度から急騰



(出所：JX金属公表の国内銅建値をもとにグラフ化)

銅材料価格

- 当社では、銅の相場価格を基準として3か月ごとに販売価格を決定する「銅価スライド制」を採用。銅価格が変動してから販売価格に反映するまでにタイムラグが生じるものの、基本的に販売価格に反映が可能

サステナビリティの取り組み

Environment

xEVの普及で、脱炭素社会の実現へ

当社では、車載電池用銅箔の供給及び高品質化を通じ、車載用リチウムイオン電池とxEVの普及に寄与し、**脱炭素社会、持続可能な社会の実現に貢献します**

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



当社グループの銅材料は、リサイクル銅100%を使用しています

当社グループは、製造過程で発生する銅箔屑もリサイクルしています
ISO14021:2016の適合について外部認証機関による検証実施済みです

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



Social

人的資本経営

「個人の成長 = 企業の成長」を実践します

教育カリキュラムの拡充により人材の成長を図り、中長期的な企業価値向上を目指します

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



Governance

環境への取り組みの拡充によるガバナンス向上

一例として地球環境改善のため環境管理委員会を充実させ、カーボンフットプリント部会を新設しました

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



この資料の取扱について

本資料は、日本電解株式会社及びその連結子会社の企業情報等の提供のみを目的として作成されたものであり、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、現在の予定、推定、見込または予測に基づく将来に関する記述が含まれています。この将来に関する記述は、本資料発表日現在において利用可能な情報をもとに、当社経営者が判断した内容に基づいております。将来に関する記述には様々なリスクや不確実性があり、様々な要因の変化等により、この資料に記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがありますことをご了承ください。



日本電解株式会社
Nippon Denkai, LTD.